

**文化財保存新潟県協議会・第11回大会****新潟の玉作研究最前線!****～弥生・古墳時代に人々を魅了したアクセサリー～**

今年度の文化財保存新潟県協議会総・大会を以下のように開催いたします。

総会は文化財保存新潟県協議会会員（新潟県内在住の文化財保存全国協議会会員）が年に一度集まり、本会のこれまでの活動を振り返り、今後の指針を協議する重要な会です。また、大会は広く市民に参加を呼びかけ、遺跡と歴史と一緒に学ぼうという機会です。今回は、和洋女子大学名誉教授の寺村光晴さんによる玉作研究に関する講演を中心にお送りします。みなさんご存じの寺村さんは、新潟県出身で日本の玉作遺跡研究をリードしてきた方です。これまでの豊富な研究の成果をふまえ、全国的な動向の中で新潟の玉作研究の現状をお話しいたします。また、講演に加えて県内3遺跡の最新の発掘調査報告も予定しています。新潟における豊かな玉作研究の成果と現状を知るまたとない機会です。

なお、大会終了後は懇親会を開催いたします。お気軽にご参加下さい。

大会・懇親会への参加は、会員に限りません。歴史や遺跡に興味をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

**と き：2009年10月24日（土）**

**ところ：新潟市歴史博物館（みなとぴあ）・2階セミナー室**

（新潟市中央区柳島町2-10 TEL：025-225-6111）

**日 程：総 会 10：30～11：30**

（いつもより早くなっています。ご注意ください）

**大 会 12：30 一般受付開始**

**13：00開会～16：30（終了予定）**

講演「越後・佐渡における弥生・古墳時代玉作研究の

最前線を考える」

寺村光晴さん（和洋女子大学名誉教授）

報告：県内の玉作関連遺跡最新発掘調査報告（各報告30分）

「糸魚川市南押上遺跡」小池勝典さん（（株）吉田建設）

「長岡市五千石遺跡」加藤由美子さん（長岡市教育委員会）

「新潟市西郷遺跡」土橋由理子さん

（新潟県埋蔵文化財調査事業団）

**懇親会 17：00～**（会場は当日ご案内します。会費4000円程度。）

※資料代500円をいただきます。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

## 身近な「新津」の歴史を堪能した春の一日！

5月17日（日）、文新協としては久しぶりの春の見学会を開催しました。今回のコースは新津の古代から近現代までの遺跡をまわるもの。それぞれに見どころ聞きどころがあり、大変充実した内容となりました。

まずは、「石油の世界館」。ここでは地質学の小林巖先生の解説とともに「石油の世界館友の会」の小野沢省一さんのお話を伺うことができました。小野沢さんは、金津の油田で長く働いていた方で現在は80歳を越えていらっしゃいますが、そのお話しぶりは現役そのもの。1つひとつの作業の過程をリアルに解説してくださいました。金津油田は現在、近代化産業遺産に指定されています。つい最近まで採掘を続けていたために機械もまだ現役で動かすこともできます。この油田の始まりは明治6年。手掘りでの厳しい作業の中で借金をしながらの開発だったようです。1900年代にはいると機械化が始まり、一時は国産石油の60%を占めるほどの採掘量をほこり、新津も石油の町として発展しました。「館」の見学の後は、雨の中、石油が含まれる層が表れている露頭へと向かいました。砂と油を含む層が相互に積み重なる見事なものでした。



ジオラマを前に小林先生の解説



実物の迫力に圧倒されます。



石油が含まれる地層を観察



整備の進む八幡山遺跡～環濠の様子



**文化財保存新潟県協議会主催** 会員でない方初めての方もお気軽に！

あまりにも有名な縄文遺跡の数々を見に行こう！

## 「信濃の縄文遺跡をたっぷり堪能する旅」のご案内

県内外の遺跡を訪ね、好評を得ている文化財保存新潟県協議会（文新協）の遺跡見学ツアー。今年も昨年に引き続き、お隣の長野県を訪ねます。同じ長野県でも、これまでは北部の遺跡をまわるのに精一杯でしたが、今回はいよいよ長野県中部の諏訪周辺および東部です。黒耀石の原産地である長和町鷹山遺跡群にたつ「黒耀石体験ミュージアム」、縄文集落研究の原点である茅野市尖石遺跡、「縄文農耕論」が生まれた豊かな信濃の遺跡の代表格・富士見町井戸尻遺跡など、誰もが一度は行ってみたい著名な遺跡の数々をじっくりと見学します。ぜひ、ご参加ください。

会員ではない方、「見学会は初めて」「ひとりで大丈夫かしら」という方も大歓迎！ 甘粕健会長をはじめ、文新協が誇る講師陣、そして現地の研究者・担当者が、わかりやすくていねいに説明します。バスの中、そして宿舎でも遺跡談義に花が咲き、みんなが仲良しになれます。年に一度のこの機会、ぜひご参加ください！

日 時：2009年 **10月3日（土）・4日（日）** 1泊2日

見学地（予定）：以下の行程を全行程、小型観光バス（車内禁煙）でまわります。

**10月3日（土）** 7時30分、新潟駅南口集合・出発 →富士見町「井戸尻考古館」および史跡公園（国指定史跡井戸尻遺跡） →諏訪市博物館 →茅野市「尖石縄文考古館」および史跡公園（特別史跡尖石遺跡・与助尾根遺跡） →宿舎

**10月4日（日）** 宿舎出発 →長和町「星くずの里 黒耀石体験ミュージアム」・鷹山遺跡群（黒耀石原産地・黒耀石鉋山遺跡）→御代田町「浅間縄文ミュージアム」 →18時30分、新潟駅南口到着・解散予定

※見学箇所・ルートは、諸事情により変更する場合があります。

宿泊予定：北白樺高原ブランシュたかやま・ペンション「ジョイハウス」  
（長野県小県郡長和町大門3651-82 電話0268-69-2103）

見学会費：ひとり26,000円程度（集合時に徴収します）。

なお、会費には、全行程のバス代、宿泊代（1泊2食）、2日分の昼食代、資料代、見学地の入館料、その他経費を含みます。

申し込み：ハガキ・ファックス・メールのいずれかで「住所、氏名、男女の別、年齢、電話番号」を明記の上、事務局までお申し込みください。先着20名で締め切りますが、申し込み多数の場合は文化財保存新潟県協議会会員（新潟県内の文化財保存全国協議会会員のこと）を優先させることがあります。参加者には、後日、詳細な要項をお送りいたします。なお、宿舎は複数人の相部屋となります。遠方からお出で途中での合流を希望される方は、その旨ご明記ください（ご要望には必ずお応えできるとは限りません）。また、申し込み後のキャンセルは、見学会費をいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。お申し込みはお早めをお願いいたします。